

2018(平成30)年3月28日

2018年度 京阪電車マナーポスター新シリーズ

「マナー名作劇場」を4月1日(日)から掲出します

～電車内でのマナーを4コマ漫画でユーモラスに表現～

京阪電気鉄道株式会社(本社：大阪府中央区、社長：中野道夫)では、電車内でのマナー向上を呼びかけるマナーポスターの新シリーズ「マナー名作劇場」を4月1日(日)から来年3月まで、計3枚掲出します。

39作目となる今回のシリーズでは、誰もが知っている童話のワンシーンをモチーフに、マナーが守られていない状況を4コマ漫画で描いています。車内とは関係ない場所にもかかわらず、登場人物が思わず乗車マナーを指摘してしまう様子をユーモラスに表現することで、マナー向上を呼びかけます。また、昨年に引き続き、駅構内の旅客案内ディスプレイでは動画版を配信します。

第1弾のポスターでは「乗降時の立ち位置」をテーマに、魔法が解ける前にお城を出たいシンデレラと、扉の前でおしゃべりをして立ち止まったままの守衛が登場し、思いやりのあるマナーとは何かを表現します。

当社では、今後も引き続きマナーポスターをはじめ、車内放送など様々な機会を通じて、マナーへのご理解とご協力を呼びかけ、快適な駅や車内環境の実現に努めていきます。

マナーポスターの概要は別紙のとおりです。



4月～7月掲出ポスター(テーマ：乗降時の立ち位置)

(別紙)

1. シリーズタイトル マナー名作劇場
2. 掲出場所 車内ドア上横(サイズ：縦 150mm×横 530mm)
※該当枠のない車両は対象外
3. 掲出枚数 1テーマにつき約 500 枚
4. テーマ・掲出時期
第1弾のテーマ：乗降時の立ち位置 4月～7月掲出
第2弾のテーマ：荷物の持ち方 8月～11月掲出
第3弾のテーマ：座席の座り方 12月～3月掲出



車内掲出イメージ

以上